

情報提供年月日

令和4年4月13日

三次記者クラブ会員 様

送信者

庄原市 総務部 行政管理課

広報統計係 三戸（みと）

大田（おおた）

TEL0824-73-1159・FAX0824-72-3322

## アメリカ合衆国の臨界前核実験実施に対する抗議文の送付 について

### ■趣旨

アメリカ合衆国が、2021年6月及び同年9月に臨界前核実験を実施したとの報道に接し、同国のジョー・バイデン大統領及び駐日アメリカ合衆国大使館のラーム・エマニュエル特命全権大使宛てで、別紙のとおり抗議文を送付しました。

## お問い合わせ

庄原市 総務部 総務課 総務法制係 電話 0824-73-1123

担当者：中廣・曾根田

アメリカ合衆国大統領  
ジョー・バイデン 閣下  
駐日アメリカ合衆国大使館 特命全権大使  
ラーム・エマニュエル 閣下

## 抗議文

この度、貴国が 2021 年 6 月及び 9 月に、ネバダ州の地下核実験場において、臨界前核実験を実施していたとの報道に接した。

今回の臨界前核実験の実施は、「核兵器廃絶」という国際世論に反し、貴国が今後も核兵器を持ち続けるという意思を強く示したものと受け取れる。

2021 年 1 月には、世界で初めて核兵器の開発、保有、使用などを法的に禁止した核兵器禁止条約が発効し、国際社会の核兵器廃絶に向けた機運が高まる中で、貴国が今回実施した実験は、世界の平和と安全を脅かす行為であり、到底容認できるものではない。

本市は、これまであらゆる機会を通じて、核兵器の廃絶並びに恒久平和の実現を世界に訴えてきた。

ノーモアヒロシマ・ノーモアナガサキを願う庄原市民を代表し、今回の貴国の実験の強行に対して強く抗議するとともに、貴国が核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を願う世界中の人々と庄原市民の思いを真摯に受け止め、核実験はもとより、今後一切の核開発を放棄することを強く求める。

令和 4 年（2022 年）4 月 13 日

庄原市長 木 山 耕 三